

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【公開番号】特開2003-341249(P2003-341249A)

【公開日】平成15年12月3日(2003.12.3)

【出願番号】特願2003-77533(P2003-77533)

【国際特許分類】

B 4 1 M 5/382 (2006.01)

B 4 1 M 5/50 (2006.01)

B 4 1 M 5/52 (2006.01)

【F I】

B 4 1 M 5/26 H

B 4 1 M 5/26 1 0 1 H

【手続補正書】

【提出日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】結晶性樹脂、エラストマー、又はこれらの混合物である熱可塑性樹脂30～100重量%、無機微細粉末及び/又は有機フィラー70～0重量%を含有する樹脂フィルム(A)を含み、熱転写型プリンターによるA-4サイズ(210mm×297mm)用紙の印刷後2分以上における4隅のカール高さの平均が50mm以下であり、且つ結晶化熱が60J/cm<sup>3</sup>以下であることを特徴とする熱転写フィルム。

【請求項2】熱可塑性樹脂が、結晶性樹脂とエラストマーとの混合物であることを特徴とする請求項1に記載の熱転写フィルム。

【請求項3】エラストマーが、スチレン系熱可塑性エラストマー、オレフィン系熱可塑性エラストマー、ウレタン系熱可塑性エラストマー、エステル系熱可塑性エラストマーより選ばれたエラストマーであることを特徴とする請求項1又は2に記載の熱転写フィルム。

【請求項4】樹脂フィルム(A)が、酸化処理及び/又は画像記録層(B)が設けたものであることを特徴とする請求項1～3のいずれかに記載の熱転写フィルム。

【請求項5】樹脂フィルム(A)に剥離強度が5～150g/cm幅である層間剥離を可能とする層(C)を設けたことを特徴とする請求項1～4のいずれかに記載の熱転写フィルム。

【請求項6】請求項1～5のいずれかに記載の熱転写フィルムを用いることを特徴とする記録物。

【請求項7】請求項1～5のいずれかに記載の熱転写フィルムに熱転写型プリンターで印刷することを特徴とする印刷方法。